

平成 28 年度 第 3 回田平町地域協議会会議録

- 1 . 会 場 田平支所 3 階会議室
- 2 . 日 時 平成 28 年 11 月 16 日 ( 水 ) 14 時 00 分開会
- 3 . 出席委員 久原鐵男委員、岡斉委員、中西正人委員、松瀬郡一郎委員、  
吉福弘実委員、長田康志委員、松本一郎委員、永井正則委員、  
早田博子委員、須藤豊博委員、安田豊委員、小田浩吉委員、  
手島りつ子委員、針尾幸一郎委員
- 4 . 欠席委員 針尾郁子委員
- 5 . 職 員 山口龍一郎田平支所長、森川祐輔地域振興課長、  
立石哲也地域振興課参事監兼市民協働班長、  
松本哲朗産業建設班長、千代延貴史地域振興課主査、  
氏田裕也田平町中央公民館長
- 6 . 議事録署名人 中西正人委員、安田豊委員
- 7 . 傍聴人の数 10 人
- 8 . 審議案件等の概略及び審議結果

14 時 00 分 開会

( 1 ) 開会

( 2 ) 支所長挨拶

山口支所長挨拶

( 3 ) 会長挨拶

久原会長挨拶

事務局

会議を進めていきますが、地域協議会の運営等に関する規則第 2 条の規定によ

りまして、議長は会長にお願いいたします。

会長

それでは、事務局から説明がありましたとおり、議長を務めさせていただきます。

審議に入ります前に、本日の出席委員数は、15名中13名の出席で地域自治区の設置に関する協議書第9条の規定により半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを宣言いたします。なお、針尾郁子委員から欠席の届けが来ています。また、永井正則委員から遅刻の届けが来ています。

続いて議事録署名委員の指名を行います。委員名簿の中から、中西正人委員、安田豊委員を指名いたします。

#### (4) 審議事項

会長

それでは、会議次第にそって会議を進めてまいります。4番の審議事項に入ります。平成28年度平戸市まちづくり活性化事業交付金、第29回がわっば祭事業及び第37回たびら夏祭り花火大会事業の実績評価につきまして、事務局の説明を求めます。

事務局

これより、平成28年度平戸市まちづくり活性化事業交付金、第29回がわっば祭事業及び第37回たびら夏祭り花火大会事業の実績評価をしていただきますが、その前に採点の流れを説明いたします。

～採点の流れを説明～

以上、よろしく申し上げます。

会長

ただいま、事務局より審査の方法について説明がありましたが、何かご質問はございませんか。ないようですので、それでは審査に入ります。がわっば祭伝承会の入室をお願いします。第29回がわっば祭事業について、がわっば祭伝承会より実績報告をお願いします。時間配分は実績報告を10分、質疑応答を10分、採点を10分とします。それではお願いします。

がわっば祭伝承会

今年で29回目を迎えましたがわっば祭ですけど、7月9日第2土曜日に実施いたしました。当日は朝から霧雨でパレードができるか悩みましたが、思い切ってパレードをすると決定した途端に小雨になってよかったなと感じました。今回は皆

様からも再三ご指摘いただいております参加者をどうにかして増やすことができないかといろいろと考えて、平戸の北部の小学校に参加申込を募りに行ったりしました。そういった中で、放課後児童クラブビートルが全面的に協力しましょうということになりまして、いまビートルの定員が80名で満杯になっていることですが、60数名参加していただきました。お手元の資料の9ページからですが、去年と比較してみますと、低学年の参加が大幅に増えました。また、児童の参加が不可欠だからとういことで、実行委員会の中に小学校の校長先生に入っていたいただき協力していただけたらいかがですかというご意見を皆様からいただいておりますので、小学校の3人の校長先生にご相談しまして、北小学校の校長先生が北地区の話でもあるし学校長代表として入りますということでした。そういった関係もありまして、北小学校から例年になくたくさんの参加をいただきました。パレードですが田平港から平川まで、そのあと平川で供養してからまた町民センターまでパレードをしていますが、今回は雨の関係と去年よりも倍近く参加がありましたのでパレードに時間がかかり交通渋滞となって警察の指導もありましたので省略しました。そして10時から式典を行いまして、そのあとかっぱ巻きをするわけですが、今回は参加者が多いということで、いままで2列の30mぐらいでしていましたが、最初から入りきれないと予想されていたので3列で38mのかっぱ巻きを作りました。今回も商工会女性部を中心として準備等にご協力いただきました。その準備に30分程度かかりますので、その間子どもたちに読み聞かせをしていただきました。また、今回は田平ホームから参加させてくださいということでしたので、入所者の方もかっぱ巻き作りに参加されました。あと、かっぱの仮装した児童が2人と地域おこし協力隊も盛り上げていただきました。がわっぱ相撲ですが、今回は参加者が多く時間がかかるようだったため、紐の最後を抜けないように結んでいたのを今回は力を入れて引けば抜けるように結び目を入れずにしたら早く終わりました。今後の課題ですが、田平町に特化した事業でありますので、まずは田平町で認識していただくことが大事だと思っています。参加者の状況を見ますと北地区に片寄っていますので、南地区、東地区にもお願いをして参加協力をしていただければもっともっと町内だけでも十分伸びる祭になると思っています。実行委員会としても安易に参加者を広めても逆効果にもなりますので十分な論議をして足元を固めてと考えています。また、この着ぐるみですが、親和銀行さんの絶大なご協力をいただきまして作成しました。いまこのネーミングを小学校の児童にお願いをしております。来年は30周年にもなりますので、かっぱの仮装大会をやってみたらどうかというご意見もいただいておりますので、予算の関係もありますので十分考えながら続けていければと思っています。

会長

報告が終わりましたので、質疑に入ります。何かご質問はございませんか。

委員

期日のことですが、7月の第2土曜日にされているのは、がわっばさんの誕生日だとか何かあるのですか。まだ7月の初めは梅雨時期で雨が心配されるので、夏休みに入ってからだとか天候が安定したらもっと参加者も増えるのではないですか。

がわっば祭伝承会

時期の記録はありませんが、最初は下里の川祭りが元祖と言いますか、がわっばの言い伝えを祭化しようということで始まったということです。それと、ちょうど雨の時期でもありますので子どもたちの水難事故防止もありますし、夏休み前にしたがいいということではなかったかと思えます。

委員

目的に環境美化や水難事故防止とありますが、いまは物凄く参加者が少ないわけですが、子どものことなので校長会に強く要請したがいい。

がわっば祭伝承会

今回初めて北小学校の校長先生に実行委員会に入らせていただきましたので、これから広めていきたいと考えています。

委員

パレードも一回で終わってしまうような感じを受けました。仮装した子どももいましたので、ダンスやパフォーマンスなど自由課題を出して、子どもたちに目的を持って参加してもらって、思い切ってコースを支所から保健所までの裏の道を回ったらと思いました。

がわっば祭伝承会

当然考えていかなければならないと思います。ただ1点は今年も心配したのですが、参加者が増えればそれだけ経費が伴うわけで予算的に限られたところもありますし、従来のコースを通れば商店街の方からお賚金をいただけるということもあります。裏道は国道よりも安全ですので、その予算的なものが解決できればいいですが、検討していきたいと思っています。

委員

案内はいいことだと思いました。会長がやられていることは全て前向きで非常

に好感持てます。そのように頑張られている中で、参加者が北小、東小に比べ南小が極端に少ないのはなぜですか。

#### がわっば祭伝承会

児童数も関係ありますが、3年くらい前までは南小の3年生が郷土の伝統を総合学習としていたのですが、その後取り組みがなくなって認知がなくなったのかとも思われますので、また働きかけを行わなければと思っています。

#### 会長

他にございませんか。他にないようでございますので、これで質疑を終結いたします。有難うございました。がわっば祭伝承会の退室をお願いします。これから採点に入りますが、平戸市まちづくり活性化事業交付金事業評価要領第4条第2項に申請している団体を構成する実行委員たる協議会委員は当該事業の審査から外れるものとする規定されていますので、がわっば祭伝承会委員であります中西委員、久原委員は審査に加わることはできませんのでご了承ください。それでは、お手元の評価表にご記入をお願いいたします。採点が終わりましたら評価表を回収させていただきます。なお、集計結果は5番の報告事項に入る前に事務局から報告いたします。

～採点中～

#### 会長

つづきまして、第37回たびら夏祭り花火大会の審査に入ります。たびら夏祭り実行委員会の入室をお願いします。第37回たびら夏祭り花火大会事業について、たびら夏祭り実行委員会からの実績報告をお願いします。時間配分は実績報告を10分、質疑応答を10分、採点を10分とします。それではお願いします。

#### たびら夏祭り実行委員会

それでは、資料に沿って説明いたします。資料の27ページの実績報告書ですが、まず田平町田平港内埋立地一帯で行いました第37回たびら夏祭り花火大会は、目的といたしましては例年のことですが、地域の活性化を進め平戸を広く知らしめ交流人口の増大と観光振興に寄与するものであることを目的としています。事業内容につきましては、ご存知のとおりまずメインの花火大会、これは打上と水中花火、それとバザーと露店の出店、その他町内の権現太鼓、カラオケ大会を実施いたしました。実施スケジュールですが、まず3月16日の正副会長会を皮切りに9月23日の会まで正副会長会を1回、企画専門委員会を1回、実行委員会を3回、監査を1回行いました。そして8月17日に実施いたしました。次に期待される効果

及び活動(成果)ですが、海峡をバックにした大玉の打上花火、海上での水中花火は、たびら夏祭りならではのものであり、イベント参加者と市内外から大勢の見物客があり、一大イベントとして交流人口の増大と地域振興に寄与しているということでございます。次に28ページの精算書を説明いたします(収支を詳しく説明)。次に29ページですが、自己評価として過大評価もありますが94点としました。評価コメントにつきましては、田平港シーサイドエリア広場をメイン会場として6回目ですけど、今回は平日であり観覧場所や駐車場の確保に手間取ったことは反省材料であります。昨年平戸警察署から指摘がありまして、終了後の観客の誘導をスムーズに行いたいとのことで、事前に平戸警察署と警備会社、事務局と協議を行い、市交通指導員の協力や警備員を増員したことで、事故等もなく観客の帰路も円滑にできました。それと例年帰りの西肥バスの利用者が少なく赤字であるため今年は廃止しました。それによるクレームはありませんでした。昨年より市の交付金が25万円増額しましたので、ある程度ゆとりを持って実施することができました。ただ、地元業者の無償の労働力や重機等の提供がありますので今後の課題でもあります。それとイベントにつきましては、一昨年から中止していた昼間のステージイベントを実施し、特に地元高校生のライブ、猶興館高校のダンスの若い方の出演の場を設けました。今後の課題といたしましては、実行委員会委員さんの高齢化で世代交代をしないといけない。財政面ですが、協賛金は廃業等もあり資金調達は厳しいものとなっています。また備品の老朽化で補修の費用が今後は出てくる可能性があります。31ページですが、皆様もご存知でありますので説明は省略しますが、今回は予算の増額もありまして50発程度増加しています。32ページには自己申告ではありますが町内出店業者の売上額を記載しています。33ページ以降は省略させていただきます。今後ともたびら夏祭り花火大会を地域のイベントとして継続されるよう皆様方のご協力をお願いしまして実績報告を終わります。

会長

報告が終わりましたので、質疑に入ります。何かご質問はございませんか。

委員

当日車が多かったと思いましたが、駐車場は足りましたか。

たびら夏祭り実行委員会

特段問題はなかったのですが、瀬戸市場さんや平日ということもあり病院の職員さんの駐車場の調整、また業者の方の駐車場の確保が難しかったです。

委員

交通指導員が駐車場に誘導しても満車で戻ってこられた方がいたので、交通指導員と駐車場とでの連絡のやり取りをトランシーバーなどでやられた方がいいと思いました。

たびら夏祭り実行委員会

それも大きな課題でもありますが、警備員さんも結構配置していますけど、駐車場は市役所の職員さんをお願いしていますから、なかなかスムーズにいかないところもあります。

会長

他にございませんか。他にないようでございますので、これで質疑を終結いたします。有難うございました。たびら夏祭り実行委員会の退室をお願いします。これから採点に入りますが、平戸市まちづくり活性化事業交付金事業評価要領第4条第2項に申請している団体を構成する実行委員たる協議会委員は当該事業の審査から外れるものとする規定されていますので、たびら夏祭り実行委員会委員であります、中西委員、松瀬委員、吉福委員、松本委員、永井委員、安田委員、久原委員は審査に加わることが出来ませんのでご了承ください。それでは、お手元の評価表にご記入をお願いいたします。採点が終わりましたら評価表を回収させていただきます。集計につきましては時間を要しますので、結果が分かるまで休憩いたします。

～採点中～

〔休憩〕

会長

それでは会議を再開いたします。集計結果が出ましたので、事務局からの報告を求めます。

事務局

集計結果を報告します。第29回がわっぱ祭事業について、地域協議会の評価といたしまして、合計平均89点であり総合評価はAの大変評価できるとなります。また、評価コメントにつきましては、地域活性と伝承芸能事業として、運営方法や体制を強化して残すべき。地味な活動と思いますが、努力されておられると思います。子どもたちのパフォーマンスを発表させたらどうか。コースの変更を考えたら

どうか。伝統的な意味のある行事である。行事の成り立ちの継承を大切に子どもたちに伝えて行っていただきたい。梅雨明け間もない時期より、夏休みに入ってからの方が天気も安定するのではないのでしょうか。参加者もその方が期待できるのではないのでしょうか。伝統行事であり、今後も続けてほしい。小学校の児童全員の参加が必要では（学校の協力が大事である）。伝承していきたい行事ですので、頑張っしてほしいとの評価コメントがありました。次に第37回たびら夏祭り花火大会事業について、地域協議会の評価といたしまして、合計平均93点であり総合評価はAの大変評価できるとなります。また、評価コメントにつきましては、毎年期待されているイベントである。募金等の苦勞も大変と思いますが、更なる発展を期待します。協賛金の確保が今後の課題となるのではと思いますとの評価コメントがありました。以上、評価結果の報告を終わります。

#### (5) 報告事項

会長

それでは次に5番の報告事項に入ります。まちづくり運営協議会準備委員会の経過報告について、これから各委員長から報告をしていただき、その後、地域振興課からまちづくりについての今後のスケジュールや交付金について説明をしていただきます。それでは、各委員長の入室をお願いいたします。まず初めに、北小学校区からお願いいたします。

田平北小学校区まちづくり運営協議会準備委員会

前回8月の協議会では7月までの経過を報告いたしましたので、今回はそれ以降につきまして報告させていただきます。8月・9月・10月・11月と4回話し合いを行いました。内容につきましては、細かいことより主にまちづくり計画書の策定を行いました。今はまちづくり計画書策定の最終段階の確認を行っています。今まで行ってきました活動は以上ですが、今後はご指摘があったところを修正し、次回12月に最終報告を行うこととしています。

会長

次に南小学校区から報告をお願いいたします。

田平南小学校区まちづくり運営協議会準備委員会

まず初めにまちづくり運営協議会準備委員会の報告を行いまして、その後に準備委員会の中の産業振興部会の中で道の駅活性化につきまして一言ご報告いたします。北地区と同様で前回8月4日の協議会の中で報告しました分につきましては省略いたします。第8回の準備委員会を8月25日南支館におきまして午後7

時から9時まで行っています。内容につきましては、アンケートについての集計報告であります。アンケート結果を踏まえて協議いたしました。9月8日に準備委員会を予定していましたが、前回と間が空いてなかったことと、南地区は進んでいたこともあり9月はお休みいたしました。第9回の準備委員会を10月13日木曜日南支館で、内容は理念決めを行いました。ここで南地区の理念キャッチフレーズを紹介いたしますが、「吹き上がれ南風 心豊かに自然と暮らし 笑顔あふれるふるさと南 やるばい南大家族」ということに決めています。より暮らしやすい田平南小学校区にするためのまちづくりを進めていく中で、迷ったり困ったりした時にまちづくりへの思い、目的を明確にするために、住民みんなで歩んでいきたいという思いを込め田平南小学校区のキャッチフレーズを準備委員会で決定しました。メインタイトルの吹き上がれ南風とは、吹き上がる風の勢いを南地区の力強い勢いとして表現しています。心豊かに自然と暮らしとは、自然とともに心豊かに暮らそうという思いです。笑顔あふれるふるさと南とは、ふるさと南に笑顔があふれるようにという思いです。サブタイトルのやるばい南大家族とは、南地区の強い団結力を表しています。11月1日に活性化施設で三地区合同役員会を行いました。その中で、今後のスケジュールやまちづくり交付金、まちづくり活性化事業交付金事業、組織体制、委員残留について説明がありました。また小学校区か中学校区かの方向性についても協議しました。第10回の準備委員会は11月10日南支館で行いました。内容は計画書の確認であります。計画書を今まで皆さんで話し合ったものを作り上げているわけですが、その最終的な確認を半分行いました。残り半分を12月8日に行うこととしています。以上が準備委員会の経過であります。道の駅の活性化事業であります。道の駅昆虫の里たびら活性化協議会会長の塚本さんの下で皆さんご協力いただいて、非常に活発に活動していただいております。3回目となりました10月27日に活性化計画策定部会と特産品開発部会と合同で試食を開催されております。田平の海産物、農産物を使った食ですが、作るところが今の道の駅の現状のままの施設で行いますから、そのままの施設で作れるような食で行っていただきました。ひとつはピザ、これは東京のさとゆめという会社が入っていますので、その方々で作っていただいております。からたちの皆さんもも入っていただいて10数品目の試食を行いました。その中で試食した感想を出し合ってそれをさとゆめさんが持ち帰って再度作り直して、良い物は来年の2月に東京で試食してもらおうという段取りであり、試食することで道の駅の特産品のイメージをより具現化していくということでもあります。ここまでに行くまでには、県の産学官、今年の7月が最後でしたが長崎県立大学の学生さんが道の駅の動向を調査され、またさとゆめさんでも独自に調査されどういう方向が良いのかを含めて動いています。南地区だけではないと思いますが、いま南地区の活性化として皆さん頑張っているところでもあります。今後の方向として非常に期待しているとこ

ろであります。この流れで活性化に向けて地域が元気になるようにと思っています。

会長

次に東小学校区から報告をお願いいたします。

田平東小学校区まちづくり運営協議会準備委員会

7月までにつきましては、最初にアンケートを実施して、それをまとめてから4部会を立ち上げました。それから地域の宝物探しや課題等を確認するためまち歩きをしました。8月ですが、7月末にまち歩きをした現状と課題、宝物の確認のまとめをして、東地区が目指す将来像を各部会で検討しました。9月には基本理念を全部会で検討しました。10月には東地区の基本理念として、「春は久吹に桜咲き 夏は川に蚩舞い 海では浜辺で磯遊び 秋は豊かな実りあり 冬はこころね温かく 住み続けたい故郷田平東」と決定しました。詳細はまちづくり計画に記載しますので省略します。それから事業提案として、4部会が何をするのかを検討しました。例えば地域づくり部会では、MRとタイアップしてウォーキングをすとか、外来魚駆除を兼ねたブラックバス釣り大会、久吹ダムにスワンボートや手漕ぎボートなどを浮かべてはどうか、安心安全部会では、地域の見守り見回り、危険箇所の点検、健康福祉部会では、ふれあい食堂、ふれあい運動会、子育てママさん教室、生活環境部会では、道作り応援隊、春夏秋冬の花植え隊、環境美化作業、山川海クリーン大作戦などがあがっています。あとは収益事業を全部会で決めていくとしています。今月は22日に準備委員会を開催し、ある程度計画書の確認をして12月までに計画書を策定することにしています。今月1日に三地区合同役員会がありましたが、まちづくり協議会を三地区それぞれでするのか、または田平町としてひとつでするのかという話がありましたが、東地区に持ち帰っていませんので来週の準備委員会で協議して今後のあり方を決めていこうと考えています。

会長

ありがとうございました。ただいま、まちづくり運営協議会準備委員会の経過報告について、各委員長から報告がありましたが、何かご質問はございませんか。

委員

東の委員長から話がありましたが、三地区で協議会をつくるのかとか、ひとつでするのかとの話をしているのか。

事務局

まちづくり運営協議会をひとつにするのかそれとも三校区であるのかは、まちづくりの話を進める上で地域協議会にお諮りをしました。地域協議会の判断があってどうするかということですが、今は三小学校区で議論をしていますが、やはりこの前の役員会の中でも田平はひとつということが望ましいという話は出てきたところです。

#### 委員

準備委員会に取り組む前に地域協議会でも区長会でも田平はひとつという約束で取り組んだ。そこは間違えんごと。それと、道の駅の活性化事業は準備委員会とは関係ない。準備委員会は事業の実施団体ではない。

#### 委員

最初に区長会に話があったときは、合併して10年が経つと合併特例債も減る、人口が減る、市の予算がなくなる、嘱託員手当も相当かかっているという話があって、区長会でも論議があって今があると思いますが、良いことをしていると思います。否定もしませんが、三地区を一本にするのが最初の話だった。それと、今話があった道の駅のことはそもそも行政の仕事。人口が減少していく、独居老人が増えていく、病院に行く足がなくなる、交通手段をどうするか、地域は地域で守ろう、交付金を交付するから何か考えてくださいと色々な話の中では道の駅は違う。もう既に具体的な話があるのでまとめるのは難しい。一本にするという筋論だけは通しとかなないと区長会でまた振り出しに戻ってしまう。

#### 事務局

あくまでも田平のまちづくり運営協議会是一本ということを前提として立ち上がったわけですから、ただ三小学校区にも色々な課題、地域性がありますから、準備委員会の中で議論して計画を作り、その計画をひとつにまとめるというスケジュールを前提として進めています。

#### 委員

道の駅活性化事業は準備委員会では事業主体はされんはずですよ。別の組織を作ってできないのか。それと、最初の市の説明と変わった方向に行っている。せっかく立派な計画書ができていますから、地域活性化するわけですから計画書については何も言うことはない。しかし、変な方向に進むとまたばらばらになると思います。最初市は嘱託員をなくしますとかの説明しかしていない。その修正も何もない。

事務局

嘱託員制度の話が根底にあるのだと疑念として残っていると改めて感じたところです。その件については、先日総務部長と確認をしました。現時点では嘱託員制度をなくすとは考えていないということでしたので、この疑念は払拭できるものと思います。当然嘱託員制度を廃止するとなれば、皆さんに説明した上で決められるべき話であります。それと道の駅活性化事業の受け皿の件ですが、これは議会でも委員会でも議論があったわけですが、準備委員会が事業主体になれるのかという話がありました。これは総務省の事業で取り掛かっているわけでありませうけど、準備委員会でも事業主体になり得るという話でありました。準備委員会はまちづくりの拠点としての位置付けとなっていますので、それで進めさせていただいているところです。

委員

それは総務省の見解であって、準備委員会は今から立ち上げようとする会で事業をやっていく会ではない。

会長

道の駅活性化事業をまちづくり運営協議会準備委員会と切り離して、別の団体ということで今後はやっていただきたい。

事務局

29年度以降は切り離していきます。

会長

お願いします。他に質問はございませんか。他にございませんので、これで質疑を終結いたします。それでは、地域振興課からまちづくりについての今後のスケジュールや交付金について説明をお願いいたします。

地域振興課

まちづくりについての今後のスケジュールや交付金について説明

会長

ただいま、地域振興課からまちづくりについての今後のスケジュールや交付金について説明がありましたが、何かご質問ございませんか。

委員

追記の欄で、各小学校区でやれば職員数が7名、中学校区でやれば4名、北小学校と1名しか差がない。田平は中学校単位でやるということですから、これでは職員数が不足するわけで事業ができなくなる。地域協議会で要望を出すとかできないのか。交付金の差は375万円ですが、職員の3名減は大きいと思います。

委員

職員が3名減っても田平はひとつでやっていかなければならない。

委員

いつまでに設立を考えているのか。

地域振興課

できれば今年度の3月までにはと考えています。

会長

ただいま、要望した方が良くないかという意見、それからこのままで良いののではないかという意見がありました。皆様いかがでしょうか。

委員

いま結論を出すことはできない。

委員

要望書を出した方が良い。できれば12月定例会前の方が良いと思う。

委員

慌てなくても良い。ゆっくりと設立するかどうか協議すれば良い。

会長

いま意見がありましたがいかがでしょうか。とりあえず時間を置いて検討課題とするか、それとも今すぐにでも要望書を出すか。

委員

時間を置いた方が良い。

会長

それでは、次回までの検討課題とするということによろしいでしょうか。

(「はい」と言うものあり。)

まちづくり交付金の要望については、検討課題とすることにいたします。

各委員長の皆様ありがとうございました。退出をお願いいたします。

( 6 ) その他

会長

それでは、次に6番のその他に入ります。委員から遊休農地の課税の強化について報告があります。

委員

遊休農地の課税の強化について報告

会長

ただいま、委員から遊休農地の課税の強化について報告がありましたが、何かご質問はございませんか。

委員

農振地域だけですか。

委員

はい。

委員

農振地域はどこで確認できますか。

事務局

図面がありますので支所で確認できます。

会長

他にございませんか。それでは質疑を終わります。

最後に、次回の会議の開催ですが定例会を2月中に招集いたします。日程につきましては、調整を行いまして前もってご通知を差し上げますので、よろしく願いいたします。それでは、以上をもちまして平成28年度第3回田平町地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

17時00分 閉会

9. 会議録の公開・非公開 公開

10. 会議資料等の名称及び内容

平成28年度第3回田平町地域協議会会議次第

平戸市まちづくり活性化事業交付金要綱

平戸市まちづくり活性化事業交付金審査要領

平戸市まちづくり活性化事業交付金事業評価要領

平成28年度平戸市まちづくり活性化事業交付金実績報告に係る評価

(仮称)田平まちづくり協議会設立までのスケジュール

まちづくり交付金算定表

平成28年度平戸市まちづくり活性化事業交付金(田平地区)事業審査結果一覧表

遊休農地の課税の強化等

11. 会議録の作成者の職氏名 平戸市田平支所地域振興課  
主査 千代延 貴史

12. その他 この会議録は、地域協議会の運営等に関する規則第18条第2項の規定により、要点記録とする。

平成28年11月16日

会議録署名人 中西 正人

安田 豊